

世界遺産に相応しい 美しい川づくり協議会

会報

第7号

平成28年12月15日発行

はじめに

早いもので、平成28年ももうすぐ終わろうとしています。事業計画も予定どおり順調に進められているのではないかと考えています。当協議会としては、新たなチャレンジも模索しつつ、あくまでも河川美化の啓発に軸足を置きながら、これからも着実に歩を進めていく所存であります。

横浜市旭区の水辺愛護会「帷子(かたびら)川はふるさとの川の会」訪問

7月24日(日)放送のサンデーモーニングで、横浜市旭区を流れる帷子(かたびら)川について、以前は非常に汚かった川が地域の水辺愛護会や行政の努力によってアユが遡上して来るまできれいになった話が紹介されました。協議会としてもぜひ話を聞かせてもらいたいと申し出たところ、快く引き受けていただき、8月26日(金)、役員会のメンバー4名と事務局で旭区役所を訪問し、交流会を開いていただきました。

横浜市の仲澤河川管理課長による挨拶で式が始まり、愛護会の前原代表により活動内容等が紹介されました。

「帷子川はふるさとの川の会」概要

設立は、平成17年4月、会員数は42人(設立当初は13人)、活動場所は、帷子川(御殿橋～中堀川合流点)約3.4km、活動頻度は、毎月3回3時間位とのこと。

活動内容は、①帷子川のゴミ回収作業、②帷子川沿いの散策道の清掃作業、③帷子川沿いの公園や土手の除草と花植え、④イベントは、年1回7月に実施(帷子川クリーンアップ作戦)、⑤帷子川上流までアユを遡上させる運動(旭区役所近くの二俣川合流点までアユが遡上)、⑥自然観察・調査(生息している魚の調査)、⑦小学校に帷子川の自然環境やゴミの状態などの出張説明会や川体験の実施、⑧小学校の水槽に帷子川の魚の提供などです。

驚かされたのは、清掃活動を月3回やっているとのこと。そして、将来の担い手である子どもたちに興味を持ってもらうよう様々なイベントを行っていることです。

前原代表は、アユが遡上するまでになった理由について、下水道の普及、魚道の整備、河川清掃をこまめに行うこと



熱心に説明する前原代表



現地を視察



帷子(かたびら)川

を挙げています。

やはり、悩みは会員の高齢化だそうです。多くの方が、会社を定年退職して入会するそうですが、最近では、65歳まで働く方が多く、さらに高齢化しているとのこと。

アユの遡上となると富士宮ではなかなか難しいと思いますが、活動方法やイベント等大変参考になる視察でした。

今回は、役員のみでの参加となりましたが、機会があれば、協議会で希望者を募ってこのようなイベントを企画したいと思います。

旭区役所に置かれたアユの水槽→



環境フェアに出展

10月15日(土)、16日(日)に開催された環境フェアに市役所環境企画課のご厚意で、展示物をいくつか出展させていただきました。

多くの方が足を止めて、川のごみの写真やゴミマップを見てくれました。効果は大きかったと思います。

来年も出展させとらうことになっています。こういうイベントがあれば、どんどん出展をお願いしたいと考えています。



河川美化啓発活動(チラシ配布)

12月10日(土)JA富士宮ファーマーズマーケット「う宮〜な」で、河川美化を呼びかけるチラシ配布を行いました。当日は、雲一つない晴天で、須藤市長も配布に加わり、大いに盛り上がりました。



来店客にチラシと粗品を手渡す須藤市長



さくやちゃんと記念撮影

編集後記

今年は、先進市視察という新たなチャレンジも行いました。ゴミ写真展は想像以上に反響があり、河川美化啓発活動についても2回目を迎え、今後も定着させていけたらと思っています。

今年度の事業計画としては、このあと河川パトロールを予定しています。

世界遺産に相応しい美しい川づくり協議会
(事務局)

富士宮市役所都市整備部河川課

TEL: 0544-22-1219 (直通)

FAX: 0544-22-1208

e-mail: kasen@city.fujinomiya.lg.jp